

ドクターヘリ



※一部掲載

ドクターヘリとの^{れんけい}連携により救命

- ↓ 平成20年9月〇日、10時57分消防本部覚知。48歳男性が国有林で伐採作業中に木の枝が腹部を直撃し強い痛みで動かさないとの同僚からの119番通報。

直ちに近くの旧小学校グラウンドへドクターヘリを要請。医師2名と看護師1名を消防車両へ乗せ^{さんろく}山麓へ向かいさらに木材運搬車に乗り換えて山中の現場へと向う。現場での腹部エコー診断で「出血性ショック」「^{ひぞう かんぞうそんしやう}脾臓、肝臓損傷」の診断で直ちに医療処置が施された。

陸路搬送は、傷病者への負担が大きいため断念。防災ヘリを要請し傷病者を秋田市内の三次医療機関へ搬送した。

時間の経過とともに悪化する傷病者のもとへ医師を投入し早期に医療行為が施されたことと、山中から救出した防災ヘリとの連携が奏功した。

- ↓ 平成20年6月11日 9時〇〇分消防本部覚知。管内国道上で普通乗用車同士が衝突し3名が負傷した。

1名がぐったりして動けない。車内から助け出すことができず複数のけが人がいて、さらには煙も出ているとの通報内容。

複数の救急車と救助工作車、消防ポンプ車が出動し、近くの旧小学校グラウンドへドクターヘリ要請した。現場へ到着したドクターヘリの医師により救急車内で血管

確保や^{きかんそうかん きやうくう}気管挿管、胸腔ドレナージの緊急処置が施された。重傷者は秋田市内の三次医療機関へドクターヘリで搬送となり、さらに重傷者を搬送していた救急車は五城目付近で折り返したドクターヘリとドッキングし、秋田市内の大学病院へ搬送となった。この事故で現場においてドクターヘリの医師により1名は死亡診断された。

ドクターヘリで搬送の1名は、^{たはつろっこつこっせつ みぎけっききやう みぎだいたいぶけいぶこっせつ}多発肋骨骨折、右血気胸、右大腿部頸部骨折、

^{ちやうかんまく ひそんしやう きやうせいこうまくかけっしゆ}腸間膜・脾損傷、急性硬膜下血腫の重傷でドクターヘリの医師の早期介入による

治療が奏功し一命を取り留めた。

✚ 平成20年10月〇日 10時13分消防本部覚知。53歳男性が林道復旧作業中に土砂が崩落し右半身が土砂に埋没した。同僚に救出され救急車で市内の医療機関へ搬送。医療機関内のヘリポートに到着していた医師が救急車内に乗り込み診察、さらに救急外来へ移動し同病院の医師とともに処置を開始しドクターヘリで秋田市内の三次医療機関へ搬送となった。ドクターヘリの医師と地元の医師の連携により救命できた奏功事例である。

